

部長	課長	課長補佐	係長	係員
第2回 伊那市・子ども子育て審議会			令和6年3月21日 19時00分～	市役所 多目的ホール
出席者	【委員】 宮坂文子委員、百瀬かをり委員、川村紗代委員、三澤健一委員、飯島香織委員、下島桐委員、田畑和輝委員、福永佐枝子委員、細田紀代美委員、宮原健委員、原一馬委員、遠山豊委員 (欠席 春日聡委員) 【事務局】 村松保健福祉部長、北原子育て支援課長、橋爪子育て支援係長、木下保育係長、竹松保育施設係長			
配布資料	別紙のとおり			
説明の内容	以下次第のとおり			
1 開 会	保健福祉部長			
2 あいさつ	審議会長			
3 協議事項	進行 審議会長			
	(1) 伊那市子ども・子育て支援事業計画の令和5年度個別事業実績(見込み)について(子育て支援係長)			
	(2) 伊那市子どもの未来応援計画の令和5年度個別事業実績について(子育て支援係長)			
	(3) その他報告事項等 ・令和6年度予算の主な子ども子育て支援に関する事業について(子育て支援課長)			
4 その他	次回 令和6年6月頃を予定			
5 閉 会	副会長			
【議事録】				
協議事項(1)、(2)より <委員> 質問1(資料番号1-1 通し番号67) 保育士の確保については、今どうなっているか。				
回答1 子どもの数は減っているが、未満児の需要が多くなっている。未満児は保育士の配置が多く必要なため、入りたい園に入れたい人が60から70人いる。会計年度任用職員に対して来年				

度から勤勉手当を支給するが、特に保育士に対して手厚く支給することになっており、確保につなげていきたい。

質問2（同）

キャンセル待ちは施設の問題なのか、保育士不足が問題なのか。

回答2

主は保育士不足が問題。

<委員>

質問1（資料番号1-2 通し番号79）

わんぱく広場で、こども食堂を開いてもらえれば、ありがたいが。

回答1

カレー大作戦の開催も考えられるので、委託先の社会福祉協議会と相談する。

<委員>

質問1（資料番号1-1 通し番号67）

おそうじ先生の配置状況と、業務軽減の現状は。

回答1

19園のなかで9園導入している。保育士からは大変好評なので、広げていきたい。

質問2（資料番号1-1 通し番号67）

だれでも通園制度が始まると、保育士不足が進んでしまうので、業務改善や処遇改善を市全体で進めてほしい。

回答2

次年度以降検討していきたい。

<委員>

質問1（資料番号1-2 通し番号37）

SOSレターは、主にどんな相談内容か

回答1

2件ほど届いているが、内容ははじめと聞いている。

4 その他より

<委員>

質問 1

学校の部活動の地域移行の取組は。

回答 1

中学校部活動の地域連携に向けた指導主事の配置を令和6年度より進めていく。

<委員>

教育委員会でも教員の働き方改革を進めており、地域移行を進めていくが、教員や生徒や保護者のニーズもあり、なかなか難しく、模索している。

<委員>

質問 1

中学校までは市が手厚く支援しているが、高校になると支援が届かないことがある。問題を抱えている高校生だけでなく、次世代の人材育成として、継続的な支援が必要だと思うが、展望は。

回答 1

高校生や成人についても伴走支援が大事。現在、保健福祉部で重層的支援体制整備を進めており、関係機関が連携してお子さんやご家庭を支援している。

<委員>

質問 1

はらぺこは、家庭的保育事業を始めたが、来年度の受入で箕輪町と南箕輪村から希望があった。箕輪町では伊那市へ通うことは認められないという対応だったが、南箕輪村は伊那市が認めれば通ってよいということだったが、伊那市が受け入れられないとなり、見送られた。柔軟に受け入れられれば良いと思う。

回答 1

制度としては住んでいる市町村が保育をするということになり、それ以外を受けるのは広域保育となる。まずは伊那市のお子さんを受け入れるのが優先される。少子化の中、市町村の垣根を超えた受入の検討も必要かもしれない。

質問 2

南箕輪は村に家庭的保育園が1つしかないので、ぜひ検討してほしい。

【その他】

特になし